

# 大阪狭山市議会

## 議会報告会まとめ

日 程 平成26年10月24日（金）

時間・会場 午後7時～：市立公民館

日 程 平成26年11月 1日（土）

時間・会場 午後3時～：市役所南館

# 目 次

■開催の状況	1
■議会報告会の様子	2
◎ 『第1部 議会の報告』より	2
▼9月定例会議会の報告	2
▽市立公民館	3
▽市役所南館	4
◎ 『第2部 市民との意見交換会』より	5
▽市立公民館	5
▽市役所南館	8

## ■開催の状況

### ●大阪狭山市立公民館（多目的室）

- ・開催時間 午後7時00分から午後9時00分まで
- ・出席議員 小原一浩、片岡由利子、北村栄司、薦田育子、田中昭善、西尾浩次、  
林憲一郎、 以上7名
- ・一般参加 16名

### ●大阪狭山市役所南館（講堂）

- ・開催時間 午後3時00分から午後5時00分まで
- ・出席議員 徳村 賢、鳥山 健、中井新子、西野榮一、松尾 巧、丸山高廣、  
山本尚生 以上7名
- ・一般参加 17名

※議員名は50音順

## ■議会報告会の様子

### ◎『第1部 議会の報告』より

第1部では、平成25年度（2013年度）決算の状況など、9月定例会議会の内容について報告しました。また、報告後、説明が分かりにくかった点などについて質問等をいただきました。

### ▼9月定例会議会の報告

#### 1. 平成25年度（2013年度）一般会計決算について

平成25年度（2013年度）一般会計決算額は、歳入総額193億1,340万円、歳出総額は184億5,851万円となっています。

歳入歳出差引額は8億5,488万円で、翌年度へ繰り越すべき財源が1,753万円となっており、実質収支額は8億3,734万円の黒字となっています。

報告会では、決算の内容や主要な事業について資料をもとに説明をし、併せて、審査結果についても報告しました。

#### 2. 平成25年度（2013年度）の特別会計等予算について

平成25年度（2013年度）の国民健康保険特別会計決算や介護保険特別会計（事業勘定）決算をはじめ、各特別会計等の決算の内容について資料をもとに説明し、併せて、審査結果についても報告しました。

#### 3. 条例や請願・要望等の審査状況について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の新規制定をはじめ、各種条例の改正内容や審査状況について報告しました。

また、請願や要望等の審査状況などについて報告しました。

報告後、参加いただいた皆さんから、次のようなご質問をいただきました。

質問・要望など	回答・説明など
<p>子ども・子育て支援法関連で3つ条例を制定すると書いてあるだけで、条例の中身がわからない。</p> <p>子ども・子育て支援事業計画で具体的な中身がわかる。</p> <p>現在、市議会では計画は議案として審議しないが、そのような実態のほうが重要だと思う。だから計画についても重要なものは議会として審議するという位置づけにした方がよい。</p> <p>保育所は子育てされながら働かれる女性が多いために、利用争いが生まれそうな気がするが、保育所は市が1つ、保育園が6つある。いずれも定数以上の子どもを受け入れるという状態で、ちょっとおかしいと思った。</p> <p>保育が行き届くということが一番重要じゃないかと思う。</p> <p>待機児童の解消のためにこういう新事業をやるということか。</p>	<p>条例では国で示された最低限の基準を示させていただきました。</p> <p>この条例は、基準を定めて、その基準に従った保育、あるいは幼稚園教育を実施するよう定めているのですが、この中には国が示している基準と市独自に参酌した基準があります。地域型家庭保育などにつきましては保育士を、国の基準で言えば50%が良いところを、大阪狭山市は3分の2以上にすることで、国の基準より少し厳しくしている部分が幾つかあります。</p> <p>また、市独自で暴力団関係者は事業に参入できないという規定など、周辺自治体に余りない点もあり、少し前進的な面もあるということでご理解いただければと思います。</p> <p>子ども・子育て支援法が施行されますと、保育を必要とする家庭の子どもを全て受け入れるという方向になります。保育需要により、また、幼稚園教育を受けるという選択もできます。就学前教育というか就学前保育の仕様が大きく変わってくるのがこの法律の特質です。行政は計画を策定段階ですが、皆さんが不便を感じないような、需要をしっかりと受け入れられるように計画を作っているところです。</p> <p>待機児童の解消も含めてということです。</p> <p>消費税の3%増税分も財源とするので、財源が増えるということです。</p> <p>法律では、かなり仕組みが変わってきており、国では、保育などについて、色々な事業者が参入できるようにするという1つの目的を持っています。</p> <p>今までは、保育所、事業者に公費が全て入っていました。事業者に公費が入るということは、保育に関連した使い方しかできませんでした。ところが今度は認定された保護者にお金を出しますという仕組みです。そして保護者が事業者に保育料として支払うということになっています。事業者は保育料として入ってくることになるので、事業の中で保育だけに使わなくてもいいという部分が若干あります。それだけ企業が利益を上げられる仕組みがあります。</p> <p>非常に難しいところがありまして、審議の中では、今実施している大阪狭山市の保育内容は低下させないということを市当局も答弁しておりますので、保育内容は後退させないように、議会としてもよく監視をしていく必要があるという論議がされておりました。</p>

質問・要望など	回答・説明など
<p>会計別歳入歳出決算の中の国民健康保険特別会計で、黒字が出ているということであるが、その反面、去年の不納欠損額が約9,000万円近く出ているということである。</p> <p>また、収入未済額が7億5,600万円である。不納とか未納とかがなくなったら、後期高齢者の方の負担をゼロにできるかもしれない。また、最近、義務教育まで通院は無料ということが決まったようだが、少しでもサービスが広範囲にわたるのではないかと思う。</p>	<p>議員も、議会ごとに行政側に対して、徴収を速やかに行うようお願いしています。</p> <p>ただ、保険料は前年度の所得で決まりますので、状況の変化により、払えないというような事情のある方もおられます。払える人については強制的な手段を使ってでも徴収していただくようお願いしているところです。</p> <p>徴収率に関しましては90%程度です。</p> <p>また、負担の割合をもっと軽減できないかということですが、議会を代表して議長と副議長が全国や大阪府の議長会に出席して要望しています。</p> <p>また、市長も、市長会を通じて要望していますが、現実的に困難な状況かと思えます。</p>
<p>市立幼稚園の3年保育を求める請願について、不採択という意見が多いが、疑問に思った。</p> <p>医療助成制度の問題のときに、市内のほとんどの幼稚園で署名活動を行い、お母さん方と話をした。その話では、公立幼稚園の3年保育を切望されている方が非常に多い。不本意ながら1年、私学の幼稚園に通っておいて、2年目から、公立幼稚園に入園されるとか、市に3年保育がないため不本意ながら私学の幼稚園に通っているという話を多く聞く。</p> <p>どういう理由で反対をされていたのか、ご意見・お考えを聞かせていただきたい。</p>	<p>請願に賛成する議員と、もう少し時期を見たほうが良いという継続審議とする議員との2つの考え方の議員に分かれています。</p> <p>もう少し様子を見たほうが良いというのは、3年保育にすると幼稚園によっては施設を拡充しなければいけないところがある、当然、教員も増員しなければならない、そういった意味で非常に定期的な経費が必要になってきます。</p> <p>既に子育て関連3法が成立していますので、これが実施されますと、現在ある公立幼稚園のあり方が大きく変わってきます。従って、そのときに一緒に考えるほうが良いということで、今回不採択ということになっています。</p> <p>子ども・子育て支援新制度では、今までのいわゆる保育所（保育園）と幼稚園では、一方は教育、もう一方は保育というような垣根があるのですが、それがもう一緒になっています。いわゆる公立幼稚園のほうでも保育所のほうでも同じような内容になってきます。</p> <p>使用料についても、公立幼稚園が必ずしも安いとは限らなくなってくる、私立の幼稚園、私立の保育園が高いかといえばそうではなくなってきました。</p> <p>当分の間、1～2年は現状の保育料で継続するとは思いますが、そういう状況ですので、この際新たに法律が変わって子育て、保育というものが新たに変わってきますので、皆さん継続審議しているものも新しい法律に基づいて考えていこうということで不採択という立場をとったわけです。</p>
<p>この決算の、特に国民健康保険特別会計それから介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計で、いわゆる実質収支額でプラスになっている。これが差し引きでプラスになっているにもかかわらず</p>	<p>一般会計のほうは、これは翌年度に繰り入れをします。それと、積立金というのがありますから、財政調整積立金の取り崩しとか取り崩さないとかがありますが、国民健康保険、介護保険、後</p>

<p>らず、翌年度の繰り越しに入っていないというのはどこへお金が消えてなくなったのか。その辺について教えていただきたい。</p> <p>関連でお聞きしたいが、今までからこういう方式をとってきているならば、翌年度、例えば今回であれば約3億6,000万円がプラスになっている。もし、翌年度にそれをするとしたら、当然、来年の保険料は下がってきて当然である。それが、今までは下がったことがない。それはどうなっているのか。</p>	<p>期高齢者医療、これらはそれぞれ保険料を決めるときに、全額繰り入れていきます。例えば、国民健康保険ですと、3億6,000万円ほど黒字が出ていますから、次の年度では全部保険料を抑制するために繰り入れて、そして保険料を決めていきます。</p> <p>我々は、この黒字を出さないほうが良いとは思っています。毎年そういう繰り返しをやっていきますから去年と変わらない保険料になってしまいます。</p> <p>一般会計からも繰り入れをして抑制をしているということもやっています。</p> <p>これは、ほかの市町村もほとんどの自治体が繰り入れをして保険料を少しでも下げるといことをしています。</p>
<p>議会で採決された結果を、議員の氏名を出して賛成、反対の表示をしているのは大変斬新なことだと思っている。</p> <p>大多数の市民はホームページを見て、反対をされた議員はそれぞれの意思表示があるわけだから、その概略を書いていたほうが市民にとっていいと思う。</p> <p>ホームページを見やすいように、わかりやすいように工夫してほしい。</p>	<p>賛成・反対しかわからないというところもあって、なぜ賛成なのか、なぜ反対なのかということの報告というか各議員の意見の概要をホームページに掲載してほしいのご意見です。</p> <p>今、ここでどうするかということはお答えできないので、ご意見として賜り、議会に持ち帰らせていただきたいと思います。</p>

◎『第2部 市民との意見交換会』より

第2部では、「少子・高齢化について」をテーマとしつつ、後半は市政全般について自由に意見を述べていただき、活発な意見交換が行われました。各会場における質疑、意見や要望等の状況は次のとおりです。

(市立公民館)

意見・要望など	回答・説明など
<p>5年前に後期高齢者になったが、非常に保険料が高い。介護保険料を払い、妻はまだ75歳未満だから国民健康保険料を払い、来年から後期高齢者になる。</p> <p>よく循環バスに乗る。ぜひ検討してほしいのは、高齢者のバスは半額の50円で乗れるような配慮をしてもいいと思う。</p> <p>堺市は、おでかけ応援バスと、乗降車が市内であれば南海、近鉄は100円で乗れる。非常に利用価値があるもので、それは一種の元気であれば出かせないと、それを奨励する意味でやっている。余り財政支出はないと思うので検討してほしい。</p>	<p>循環バスにつきましては、議会でも運賃を半額にするという意見もありましたし、いろいろ議論をさせていただいて、行政側に質問をしたりしています。ほとんどの議員は高齢者については半額にしたかどうかという意見を述べています。</p> <p>高齢者の免許証を積極的に自主返納されているかなり交通の便が悪く山間地が多い地域に行きますと、タクシー会社に協力していただいてその助成金を出したり、高齢者の免許の自主返納に対する支援というのを実施していますので、我々も高齢者に対する支援を広げていきたいというのは、全ての議員が思っていることです。</p> <p>市によりましては、独自に高齢者に対するバスの</p>

<p>元気な人、元気な老人を応援し、それを励ましてあげるとい意味なので、よろしくお願ひします。</p>	<p>半額とか、免許証を自主返納していただいた方にはバスを半額にしましょうとか、タクシーの料金を割り引きましょうとかいった制度があります。</p> <p>今後ますます高齢化が進みますので、やはり事故の事も考えた上で安全に皆さんに大阪狭山市で生活していただくための施策として考えていきたいと思っています。</p>
<p>通年議会のことについて、お尋ねしたい。府内で第一番に大阪狭山市は通年議会を実施された。他の市からも、見学者も増えているというふうに聞いている。にもかかわらず、この議会報告会で、通年議会のことが何ら報告されない。通年議会は実際に活用されているのかどうか、その辺をお尋ねしたい。</p> <p>せっかく大阪府内でも先進的なことをやられたのだから、こういう議会報告会で、あるいは議会だよりでも、どんどんPRしてもらって、皆さんにも知っていただく必要があると思う。</p> <p>以前、議会改革特別委員会を度傍聴したが、非常に活発な意見を出しておられたので、これはかなりいいことをやっておられると感じた。今後、大いにPRしていただきたい。</p>	<p>通年議会を実施するまでには、条例の検討などもありましたし、大阪以外のところで通年議会を開催されているところに15名の議員全員がそろって視察に行かせていただきました。</p> <p>通年議会を大阪府内で初めて実施したのは、昨年5月からですが、昨年5月14日には、大阪狭山市の議員の役員改選というのがあります。それを終えた2日後に通年議会をやっているということで緊急議会を開催させていただきました。</p> <p>このときは風疹の予防接種に関して国からの予算がつかまりましたので緊急に議会を開いて議決をしました。また、7月には大阪狭山市の防犯灯のLED化に向けての緊急議会を開催させていただきました。今年度も10月28日に緊急議会を開くことになっております。</p> <p>特に一番問題なのは、災害が起きた場合、時間がかかっていますと災害の援助とかに間に合いませんので、緊急議会の一番いいところを発揮できるようにしています。</p> <p>昨年1年間で北海道から九州まで、多くの議会から視察に来ていただきました。その中で一番質問が多かったのは、行政側の協力はどうか、ということでした。本市の場合は市長を初め職員が積極的に通年議会に協力いただいたという点もありますので、スムーズに進んできました。大阪府内でトップに実施できたというのもそういう一因もあったと思います。</p>
<p>議会の性格として、一般的に提案するというのは行政サイドからの場合が多いと思うが、議員から新しい政策、施策を提案する議員提案というものが大阪狭山市ではどの程度行われているのか。</p> <p>それから、実行するのは行政が主体だが、議会はその執行状況をチェックするというのが大きな議会の使命だと思う。これがどのように行われているのか、議会報告その他で公開はされているが、そのチェック機能がどの程度、議会は行われているのか、その点を日ごろ疑問に思っているの、この機会に答えてほしい。</p> <p>傍聴も経験があるが、緊張感を持った市政というものをやっただけ上において、積極的</p>	<p>市政に対するチェック機能というのが議会の役割だと思います。だから、議会そのものがチェックをしている場だと思っています。</p> <p>議員提案につきましては、以前、水道料金の黒字が多かったので基本料金を100円下げるといことで、議員提案により、条例を改正しました。</p> <p>議員提案も、そう多くはありませんが、必要に応じて前向きに取り組んでおります。</p> <p>チェック機能ですが、平成25年度の決算を見ましても、膨大な資料がありますが、我々としましては、充分勉強し、練って、いろいろ討議しています。また傍聴に来ていただき、厳しくやっているところを見ていただいたらと思います。</p> <p>議員提案というのはまだ限られて、修正案を出すとかいうことも含めて幾つかありますが、主に一般</p>



<p>に議員提案もやっていただきたいし、先ほど説明があったチェック機能が発揮されているのであろうということを私は評価するが、いわゆる市政全般の、その個々のチェックというのが、議員の皆様方、もっと目を見開いていただいでやっていただきたいと要望しておく。</p>	<p>質問を通じて、色々な提案を行っています。  行政のチェックは、やはり委員会です。委員会でどれだけ細かく調査資料を集めて追及していくか、議会としては努力をしなければならないところだと思っています。  市議会議員全員で事務事業評価を実施しました。先ほど、循環バスについてお話もありましたが、運賃の問題も含めまして実施しました。  また、福祉センターさやま荘の問題も実施しました。チェック方法の一つとして実施しました。  条例をつくるというのはかなり大変で、例えば個人的にいろいろ条例をつくるというのは、正直言って大変難しい。  国においてもそうだろうと思いますが、色々な人が、特にスタッフが色々考えて提案してきたものに対して、議員が少々反対したところで、そのまま通ってしまうというのが一般的ではないかという気がします。強力に反対するのなら、議員間でもよく討議した上で、また会派の今まで経験も含め、これはどうだろうかというのは積極的に反対を表明すべきだと考えております。  私たちは市民の皆さんから切実な願いを聞いた場合はそれを反映していますので、すぐに実現できなくても、きちんと議論を尽くして、各議員がいろんな立場で提案をしております。その中で、最終的には多数決というのが民主主義のルールですから、それに基づいて進めているということです。  ただ、やはり大事なことは、少数意見だと思われてもきちんと行っていくことは必要ですので、それは各議員、そういう立場でやっていると思います。</p>
<p>災害のときの指定避難所のことだが、この大阪狭山市では指定避難所としては市立関係の施設を、例えば小中学校、あるいは大きな体育館のようなところを指定されているが、例えば大学とか高等学校、これは府立やあるいは私立であって、指定しにくいのかどうかかわからないが、指定されていない。近大の医学部とか病院もそうである。病院はともかく大学施設もあるので、そういうところがなぜ指定されていないのかをお聞きしたい。  例えば堺市だと府立高校も大学も、指定していると思う。その辺かねがね疑問に思っているので、議員がどういうふうにお考えなのか、聞かせていただきたい。</p>	<p>大阪府立狭山高等学校は避難所になっておりますので、開設しております。この間も台風第19号のときに開設しております。  それから、ちなみに市立東野幼稚園も、東のほうの地区にはなかなか避難所というのがないので開設しております。  議会の中で、例えば近大を、とか帝塚山大学を指定避難所という論議は現在のところありません。率直に言って今聞かせていただいた中で、指定していける範囲を増やしていくということは大事だと思いますので、検討していく必要があると思います。ご意見として受けさせていただきます。  大学は今のところ指定避難所には入っていません。ですから今後の可能性として話をしていきたいと思っております。</p>
<p>陶器山というのは大阪狭山市と堺市の間を走っている。それをあまの街道で天野山まで行くと河内長野市まで入っている。だから、陶器山が非常に大事な緑地であるという評価をして</p>	<p>あまの街道のことについて、大変参考になるご意見ですので、検討をできるようにしていきたいと思っております。</p>

<p>いるが、それを整備していく上で天野山のほうまで目を向けた場合に、大阪狭山市だけではやりにくいので、河内長野市も一緒にやったほうが良い。</p>	
<p>(その他のご意見・ご要望など)</p> <p>国民健康保険特別会計で、去年、おとし1億数千万円の未納があるということを聞いている。数少ない年金の中から保険料を払っていくが、払いたくても払えないという人はしようがないと思う。払えるのに払いたくない、払わないということに対しては議会のほうで追及し審議をしてほしい。</p> <p>中学までの通院の無料化が決まったことを聞いた。それで、子どもに関して要望したいのは、いわゆる義務教育の子どもについての問題については、党派を超えて慎重にして迅速に、大胆に審議してほしい。狭山池の世界遺産登録も良い。夢を持つということも良い。しかし、乳幼児とか児童とか生徒をお持ちの両親、祖父母、保護者の皆さんの夢は、子ども、孫がこの時代に生まれてきてよかったと言われることだと思う。</p> <p>平成27年度の選挙より市議会議員の定数を3名削減し、12名にするようにという請願であるが、これはほとんどの方が反対となって、不採択ということである。過去にも2回、3回、要望等も出ていたと思う。</p> <p>大阪府内で本市と同規模の四条畷市は、16名から12名に思い切った削減をされている。本市は平成23年の選挙のときに、16名から15名に1名マイナスになったが、今回、15名から14名、あるいは13名にということは議員で決められるので、行政側とは関係なしに可能だと思う。ニュータウンあたりではかなりたくさんさんの署名等が出ているように伺っているので、定数削減を考えていただくようお願いしたい。</p>	

(市役所南館)

意見・要望など	回答・説明など
<p>現在、幼稚園も保育所もあり、幼稚園は教育、保育所は保育、私はそれでいいのに、なぜ今、国はこういうシステムというのを言ってきているのか。それは企業が参入しやすいようにしてきているからだと思う。来年4月から実施されるが、議員はどのように捉えておられるのか。それでいい、保育料も上がる、幼稚園の3年保育はしないということに、賛成されている方、反対される方、いろいろ意見があったが、若い人も年寄りも貧困化している。その中で国が全部大阪狭山市に丸投げしてきているというのを議員はどのように考えておられるのか。ぜひ、意見を聞かせていただきたい。</p>	<p>国はやはり待機児童、女性が働きたくても保育所が整備されていなくて働きに行けないというところがあると思います。それで、待機児童の解消のために保育所の増設、また幼稚園、新制度が始まりますので、その中で保育の質と量、数を増やすということ、保育の部分も保育所の中に入れて進めていこうとしているところの制度だと思っております。</p> <p>急に少子高齢になってきて女性の活躍が国としては必要になってきている状況の中で、女性に活躍していただくためにはやはりネックになるのが子どもの保育であったり教育であったりというところで、今回このような制度になってきたと理解しております。</p>
<p>意見だが、幼稚園には幼稚園の教育の良さがある。保育所には保育所の役割と良さがある。それぞれの良さを伸ばしていくということが大事なのに、今、保育所の待機児童を減らすために乱暴なやり方をしていて、これで困るのは保育士や幼稚園の先生と子どもたちだと思っている。</p> <p>そのことを踏まえておかないと、保育所や幼稚園に混乱が起きてくると思う。</p> <p>4時間で帰る子どもと8時間一緒に過ごしている子どもが一緒に生活していきうまくいくのかと</p>	<p>30数年前に大阪狭山市で2年保育を実現いたしました。そのときは、ほかに先駆けて2年保育をしたということで人気がありまして、非常に市民から喜ばれました。</p> <p>今日までの30年間で、社会情勢を見ると、不景気になってきた、また、核家族が増えて地域のコミュニティが崩れたために、家庭の中で子どもを育てるのがなかなか難しくなって保育所のニーズが高まってきました。</p> <p>また、国が少子化に対する対策を講じることが</p>

<p>いう、何か違和感を抱きながら先生方が苦勞して育てていかなければならないということをなぜあえてさせるのか。それは建物、施設がそこにあるのを使えばいいんじゃないかという乱暴な発想からきていると思う。</p> <p>そんな混乱を持ち込まないで、すばらしい教育を蓄積されてきた幼稚園教育を潰さないで、お母さん方はその公立幼稚園のよさを知っておられるから、私学に行くよりも3年保育をしてくれる公立幼稚園で子どもを3年教育してほしいという思いを持っていることに応えていってほしい。</p> <p>3年保育では、施設を新設する必要があると、お金の問題があるとのことだが、市の財政が大変であれば、空き教室があつて、可能なところから始めていけば、3年保育をしようとする人はそこに行くし、十分採算がとれると思う。一遍にやるということを考えないでできることから皆さんの要望に応じていって、大阪狭山市のすばらしい公立幼稚園教育を前に進めてほしい。</p>	<p>非常におくれている、もっと早く国がこういう新制度を発表すべきだったと思いますが、大阪狭山市で30年前に公立幼稚園の2年保育に移行したときの状況と今とは変わっているということ。それから子育ての制度が変わったという中で、3年保育にして果たして将来にわたってどれだけのニーズが続くのかという疑問がありましたので、今回の要望の内容については、反対しました。</p> <p>政府の対応がおくれていることが一番問題だと思いますが、今後、大阪狭山市としてどういう子育て支援をしていく必要があるかということをも市民と一緒に、議会でも議論しながら進める必要があると思っております。</p> <p>まず、コミュニティが大切である、それと家族の中で子育てをどうしていくかということ子どもにせいにせず、保護者がどうあるべきかということをもまず考えていただく必要があると思いますし、その中で国それから市の行政があるべきではないのかというふうに思っております。</p>
<p>子育て支援新制度ができたのは、現実として3%上がった消費税を使うということだったらしい。</p> <p>私が心配しているのは、臨時的な新制度なのか、長期的に原資がなくなったから、どんどん削減していくことを恐れている。5年後、10年後に、この新制度自体がなくなってしまうということはないと思うが、その辺の議員の意見はどうか。</p>	<p>全体的には認定こども園という方向にと考えているようです。それは公立幼稚園を否定するとか否定しないとかではないと思います。</p> <p>3年保育には賛成か反対かということ、今回は反対しました。それは、今回の子ども・子育て支援新制度があつて、保育所の待機児童を減らしているという方向だと思いますので、3歳児からの教育というのは当然必要だと思っております。</p> <p>幼稚園を3年保育にするのかどうかとなると、設備的なものもありますが、今回、幼稚園の保育料が私立、公立と一緒にありますので、それを所得によって分けてくるということで、ある程度は所得の低いところに支援の目が向けられるというように思います。</p> <p>5年後、10年後、本当に大丈夫なのかということ、それは景気もあるのでしょう。しかし、それをやっていくのが政策であるし政治でしょうから、そこは地方の議員としてもしっかり見ておかないといけないと思っております。</p> <p>子育ての問題につきましては、少子高齢化社会で、本来子どもをどう大切にするかという視点が非常に大切だと思います。また、保育所ですと所得が増えないと高い保育料が払えないということになってきます。</p> <p>こういう点では、当然、国のほうが景気対策とか雇用対策とかをやってもらわないといけないと思います。</p> <p>大阪狭山市では、まだ正式には決まっていますが、今後1年から2年の間、幼稚園の保育所については一応現行の月額7,000円のままでいこうと</p>

	<p>しています。一方で、国が試算しているのを見ますと、所得に応じて変わっていきます。大体所得270万円以下ぐらいですと9,100円、680万円以上になりますと最高で2万5,700円になります。これは市としてもどうしていくかということは検討課題です。一気にそうするのか、あるいはどういう緩和措置をするのか、そういうことは検討すると思います。</p> <p>大阪狭山市の場合、即認定こども園の方向に全部いけるかということになりますと、市としては今後検討するというようになっておりますので、当然、皆さんの意見も市当局に伝えて参考に検討していただきたいと思っております。</p>
<p>2年後に保育料が上がるということで、それがどれぐらいになるか、今聞いていただけて当事者たちはすごい声が上がってくると思うぐらいの額になっていく。保育所も多分上がる。</p> <p>不思議なのは、消費税を投入すると言いながら、親の負担が増えるということはみんな納得できないと思う。消費税は上がる、自分たちがこれだけの金額をまた担っていかなきゃいけないということとか、保育所と幼稚園が合体したときに、保育内容はどうなるだろうということとか、特に当事者の親たちが一番大事な関心のある問題だと思う。</p> <p>パブリックコメントのときに、この条例は、とても中身が理解しにくくて、実際どうなるだろうかということで、もっとわかりやすいチラシとか説明会をこまめに幼稚園、保育所に行って、また、それ以外の一般の人たちへの説明会とか、もうちょっと丁寧にしていってほしいという要望を出したが、パブリックコメントの答えには載っていなかった。それを今回、ぜひ要望したい。</p> <p>行政ではなく、保育士や現場の幼稚園の先生方の声も、ぜひ聞いていただきたい。</p>	<p>現在、市のほうで調整しているところですので、それが決まれば広報とか、また現地へ行っていろいろな説明会等開催されると思います。</p> <p>幼稚園と保育所というと、内容が少し違うというイメージがあります。小学校へ入学したときに、幼稚園といいますと就学前教育というのがイメージ的にあるわけですが、保育所というのは子育てというイメージがあるのですが、しかし、保育所から小学校1年になられた方と幼稚園から小学校1年になられた方が、ここに差があってはいけないわけです。その点について、行政に確認しましたらその差はないということです。保育所でも就学前教育はやっています。</p> <p>こども園にしましても幼稚園と保育所の人と一緒にいるわけですが、働きたいと思っておられるお母さん方が働けるような環境をつくってほしいというのが、この子ども・子育て支援法だというふうに理解しております。</p> <p>また、それぞれの保育所等の設備や運営基準に関しまして市が厳しく関与できるという基準を決めている条例ですので、行政のほうで努力し、議会としても常々監視していかなければいけないと思っております。</p>
<p>今回は非常に具体的な話として、要望させていただく。大阪狭山市の公園を見ていたら、子どもの遊具はいっぱいある。しかし高齢者のぶら下がり健康器は、あまり見かけない。</p> <p>子どもの事件が多い中で、高齢者の方が公園に行って、少しでも触れあうようなことになればいいと思うので、ぶら下がり健康器を公園に設置してほしい。</p>	<p>高齢者用の健康の遊具・器具を幾つかの公園に置かれているところがあると思います。</p> <p>例えば、大阪府では富田林市の石川の向こうにそういうところが何箇所かあって、個人的にはさやか公園にも置いてほしいというふうには思います。また、議会としてそういう意見があるということでお聞きをさせていただければと思っています。</p>
<p>通年議会を導入して2年経過した。定例月議会以外にどれだけ会議を開いておられるのか。議員提案はどのくらい出ているか。</p> <p>議員で視察をされていると思うが、そういう報告が議会のホームページに出ていない。他市を見たら、もう細かく載せておられる。</p>	<p>平成25年度から通年議会を実施し、現在まで4回、緊急議会を開催しています。</p> <p>大阪狭山市議会の場合は、視察は各党派単位で行っています。議会改革特別委員会の中でも、やはり常任委員会で、議員提案なども含めて、実施</p>

当市よりもすぐれているということで、多分、視察に行かれると思うので、そういうことを踏まえてどうしようにするか。政務活動費を使ってやっていただく中で、そういう発表を是非してほしい。

現在大阪狭山市の議員定数は15名である。定数というのを、議員はどのように思っておられるのか。先般定数を減らすという請願がされて、不採択になったが、定数というものをどう考えておられるのか、多いと思うのか、少ないと思うのか、これでよいと思うのか、その辺を聞かせてほしい。

議員削減について、いろいろなことでよく議会を傍聴し、委員会の傍聴もしているが、これ以上の削減はもうやめてほしいと思っている。

議会傍聴をしたときに、それぞれの議員が色々な市民の声を聞いて色々な分野で取り上げてくれている。本当に議員が市民の声を聞いているということがよくわかる。大阪狭山市の議会のチェック機能も議員は持っているし、チェック機能と市民の声を聞くということについて、これ以上の削減では無理だと思う。

委員会傍聴に行くと、本当に議員が真摯にいろいろなことに取り組んで頑張っておられる姿を見て、本当にありがたいなと思っている。色々な市の状況なども見て、請願しても、要望書を出しても全部取り上げてくれて、それを各委員会で市民の声に対して向き合ってくれる姿勢は、これは当たり前前で、市によって、要望書は取り上げないというところもある。その中で、市民の声を取り上げ、今回のこういうことも画期的なことだし、内容も聞いたら1つファクスが入った、それも取り上げている。そういう姿勢が、大阪狭山市としては非常にありがたいと、市民の声を十分聞くという姿勢が感じられる。

だから、これ以上の削減は考えないでほしいと思う。本当に市民の声を生かした市政、また議会のチェック機能として、また市民の声を十分聞くということについてほしいと要望する。

していくことが重要ではないかという意見も出ています。今後、大阪狭山市議会としても取り組んでいこうと思います。

議員定数の削減については、反対させていただきました。それは、人口比較とかではないと思います。大阪狭山市はこれまでも削減をしてきたというのは事実です。

これまで議会改革特別委員会を約3年半行ってきました。その中で、議会の機能として、やるべきことはやる、その中で議員定数をどのように減らしていけるのか、二つの常任委員会がありますが、一つにしてもやるべきことができるのかといったことも議論をきっちりして、今後議員定数が考えられていくと思っています。当然、市民の方のご意見も頂戴していくと思います。

議員定数について、今は15名ですが、前は16名で選挙しました。その前は18名、その前は20名ということで、2名ずつ削減して、前回だけ1名削減でした。個人的な意見ですが、やはり市民の声を議会に反映するには、一定の数の議員数が必要だと思っています。したがって、15名というのは、それ以上減らす必要はないのではないかと考えております。

それよりも、市民の皆さんがよく言われることに、議員を1人、仮に1,000万円としましたら、2人減らしたら2,000万円が浮く、今、市民のいろいろなありましたように、もろもろの事業に回せるというふうな考えも間違っているとは言いませんが、私はやはり市民の声を聞いて働くのは議員という立場をとるのであれば、今の報酬も含めてそれだけの仕事を議員がする必要があると思います。

議会改革の中で、通年議会も含めて色々改革を進めている渦中です。それがどういうふうな成果につながるかわかりませんが、私はやはり削減というよりも議員がもっと資質の向上を含めて、市民のニーズに応えるだけの、費用削減の部分を議員みずからそれだけの働きをするべきだというふうに思っておりますので、私は15名で削減する必要はないという思いでおります。

議会で一般質問とか代表質問があります。そこで取り上げている項目を見れば、本当に一目瞭然でわかります。議員が少なくなっていると、項目も少なくなっているというふうに見えます。それと、行政をチェックする機関としてはそれなりの数がいないと、市当局というのは職員が沢山おりますから、その専門も全部議員が網羅するというようなことはとてもできません。ですから、

	<p>できるだけ多くの議員でそれを管理するということが必要になってくると思うので、これ以上減らす必要はないのではないかと考えています。</p> <p>政務活動費も、地方自治法の規定で交付されるのですが、大阪狭山市の場合は条例により個人ではなく、各会派に支給します。金額としては議員1人当たり月額で3万5,000円、2人会派には7万円が月額支給されます。また、大阪狭山市の場合は、収支報告書を毎年提出します。1円以上の領収書は全部つけるということが義務づけられています。しかも、透明性を確保するということがありまして、全部使わなかった場合は、当然市へ返還します。昨年度の内容を見ますと、各会派全て大体1万円から十数万円、返金しております。色々なところで問題が起こっていますが、大阪狭山市の場合はきちっと透明性、あるいは情報公開もしていこうということをやっております。</p>
<p>代表質問で、大阪狭山市の経済の活性化について、議員の方々が非常にいい意見を出していただいている。例えば、今回であれば若者定住推進策とかあるいは、行政のほうから大阪狭山市ブランドを増加するというふうな回答も出していただいている。また、一店一品運動というの、経済の活性化に非常に役立つと思う。これも、行政では推進すると言いつつ現在どういうふうになっているのか、まだ我々の目に見えるような行動はない。</p> <p>これから、先行き経済の悪化が予想される中で、皆さん方の経済活性化についての意見をひとつ議員提案していただけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>	<p>大阪狭山市ブランドの件ですが、今、大阪狭山市はブランドの一步手前に、さやまのええもんの商品を何品か選択して、チラシを作成するなど、少しずつ動いているという認識をしています。</p> <p>通年議会で、機能強化に向けて議員が一体となって色々やっています。議員提案までは中々できていませんが、通年議会のときには議員提案で条例を改正しました。</p>
<p>(その他のご意見・ご要望など)</p> <p>少子高齢化対策ということで、子どもの貧困率が今どんどん上がってきている。貧困率というのは、年収150万円以下が多い。1人で一生懸命働いて育てられる150万円以下の家庭である。それが実は14%台から今16%台に増えている。これだけ豊かに見える日本で16%である。</p> <p>これを、1つのクラスで言うと40人学級であれば6人ぐらひはそういう家庭の子。これを、子育て支援として色々な施策、国の方針ができて条例化というのもあると思うが、大阪狭山市の議員として常にこういうところに光を当てて、地域のつながりも含め、しっかり支援していけるようにしてほしい。</p> <p>今日、500人ぐらひPTAが集まっていた。先週は北小学校、やはり500人ぐらひ集まって、色々なつながりができているが、そういう非常に苦しいところで頑張っておられるお母さん方を、少子化の中で支援していけるように、さらに関心を持って議員にぜひ取り上げていただきたい。</p> <p>子ども・子育てという問題は、子どもにあるのか。そうではなしに女性の就労、働く場所、ここの問題じゃないかと思う。働いたらある程度の金額の保育料は払える。非正規若しくはアルバイト、パートで月10万円足らずの収入であれば生活さえまならないのがこの物価高の現行じゃないかと、そこを間違わないでほしいと思う。</p> <p>だから、子どもの教育とか保険、これについても本当に働けない人の保護をできる体制を考えるべきである。よく検討して行政に提案というか意見を述べていただきたい。</p> <p>今、少子高齢化、少子化対策として子どもの問題が非常に多い。特に義務教育の子どもの問題について</p>	

ては、議会で色々な問題が起きたときは党派を超えてやっていただきたいと思う。

いじめ対策とか不登校対策とか、色々問題がある。そういう問題を教育委員会だけには任せられない。もしそういう問題が起きたら、慎重に、迅速に、大胆にやっていただきたい。